経尿道的前立腺吊り上げ術（ウロリフト）を受ける方へ

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

病状説明：前立腺肥大を認めます。
それが排尿困難の原因となっています。
入院期間は4～１０日です。

退院基準：血尿がスケール2以下である。
排尿困難がない。
麻酔の影響(頭痛や嘔気)がない。

	外来	入院当日(/)	[前] 手術当日(/)	[後]	術後１日目(/)	術後２日目(/)	術後３日目～５日目	術後６日目～退院
検査 治療 処置	●胸部、腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●血液検査 	●身長、体重を測定します ●ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞをつけます。 □ 午前の手術の場合は、左手に点滴用の管を夕方に入れます。(シャワー浴後)	□ 午後の手術の場合は、１０時頃に左手に点滴用の管を入れます。 	●尿道に管が入っています。→ ●体温・脈拍・血圧を手術直後から、定期的に測ります。	●朝6～7時頃採血があります。 ●血尿の程度をみて尿道の管を抜きます ●体温・脈拍・血圧を1日3回 測ります。	●尿が出にくいときは、管で尿をとります。 ●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。		
薬剤	●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい ●脳梗塞や心臓の病気、血液の病気などで、血液が固まりにくくなる薬などは、必ず申し出て下さい。		□ 午前手術の場合は午前7時頃から点滴が始まります。→ □ 午後手術の場合は午前10時頃から点滴が始まります。→	●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。				
安静度 リハビリ テーショ	●普段通りの生活ができます。→		●手術着に着替えた後、歩いて手術室へ行きます。	●術後６時間まではベッド上安静です。帰室６時間後ふらつきがなく、血圧・脈拍等に異常なく気分不快がなければ看護師が付き添いリハビリ歩行ができます。 ●お食事のときだけ、頭を少し上げることができます。	●病院内歩行できます。→			
排泄				●尿の管が入ります。→ ●術後６時間まではベッド上排泄です。その後、麻酔がさめて歩行ができれば普段通り排泄ができます。	●血尿の程度をみて尿道の管を抜きます。 **尿道の管を抜いた後、排尿日誌をつけてもらいます。**			
清潔	●入浴できます。	●シャワーをしてください。	●朝、洗面・歯磨きをして下さい 男性はヒゲを剃って下さい。 ●油分の多いクリームをつけたり、マニキュアや化粧は止めて下さい。 ●時計・指輪等のアクセサリー、入歯、かつら等外せるものは外して下さい。	●体を拭き、パジャマに着替えます。	●尿道の管が抜けたらシャワー浴ができます。 			
食事 栄養管理	●普通食が食べられます。	●食事は、夕食まで食べられます。	●食事を摂ることはできません。 ●水分は、お茶・水のみ（　　）時まで摂ることができます。それ以降は摂ることができません。	●帰室後、全身状態が落ち着いていれば、2時間後より水分・食事を摂ることができます。				●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての説明があります。（医師・看護師） ●必要時、薬剤師より薬の説明があります。
説明 指導 教育	＜手術に必要な物品＞ □ コップと曲がるストロー □ 入歯入れ（必要時） ※一つずつに名前を書いて下さい。 ※手術前日に看護師が確認します。 ※手術当日に看護師が預かります。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。（看護師） ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●眠れない時は、看護師にお知らせください。	●手術室に行く前に排尿を済ませて下さい。 ※手術室に入室する時刻 （　　時　　分の予定） ※手術中、ご家族はA 棟５階の食堂でお待ち下さい。 （個室の方は個室でお待ち下さい。） 原則病棟内でお待ちください。やむを得ず病棟外へ行く場合は看護師に声掛けしていただく様お願いいたします	●ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。 	●麻酔の影響で吐気・頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。水分を多めに摂るようにしましょう。 	●尿道の管が抜けた後、しばらくは血尿や排尿時痛などがあります。水分を十分とりましょう。		
サイン欄								

※この用紙に記載された内容は予定であり病状に応じて内容・入院日数の変更はありますが、日々説明を行っていきます。ご不明な点はお気軽にお伝え下さい。